

山河遙かなり (The Search)

観賞日 2025年7月28日 上映時間 105分

【概要】

制作 1948年 アメリカ

監督 フレッド・ジンネマン

脚本 リチャード・シュヴァイザー

音楽 ロバート・ブルム

撮影 エミール・ベルナ

出演 モンゴメリー・クリフト (ラルフ・スティーブソン)

アリーソン・マクマホン (マレー夫人)、イワン・ヤンドル (カレル)

ヤルミナ・ノヴォトナー (カレルの母)



【あらすじ】

第2次世界大戦直後、アメリカ占領地域のドイツ。戦時中、ドイツ占領下の地域から強制収容所に送られた子供たちが列車で続々戻ってくる。その中に、カレル・マリクという9歳の少年がいた。カレルはチェコの裕福な家庭に生まれ育ったが、父と姉を殺されたうえに、母と強制収容所に送られていた。カレルは強制収容所で母と別れ、幾多のつらい経験をしたことから言葉を失っていた。一方、生き延びたカレルの母は息子を探して難民キャンプを回りマレー夫人のもとに辿り着く。恐怖に襲われ脱走したカレルは除隊間近のアメリカ兵士ラルフ・スティーブソンに保護される。心に深い傷を負っていたカレルも徐々にスティーブに心を開くようになる。スティーブから英語を学ぶカレル。スティーブの同居人フィッシャーの妻と息子がやって来て、カレルは自分も母を恋しく思い出す。母を探し回るカレルだが結局見つからずスティーブの元に戻る。スティーブは帰国手続きをするためにカレルをマレー夫人の所に連れていくが・・・。

信念の監督、フレッド・ジンネマンの出世作となった感動作。

【解説】

■ポイント

●戦後間もない頃のドイツ

1945年5月ナチス=ドイツが降伏し米英仏ソの4か国はドイツの4か国分割占領と首都ベルリンの分割管理の方針を打ち出す。また、11月にはニュルンベルグ裁判が始まりナチス=ドイツの戦犯追及が開始される。その後、東西冷戦が深刻になり、1949年ドイツは東西に分割され分断国家となる。

●受賞 (1949年第21回アカデミー賞)

4部門にノミネートされ原案賞を受賞

■見どころ

●戦争の悲劇は大人だけでなく子供にも起きていた

- ・悲惨な体験ゆえに身につけてしまった哀しい習性と行動
- ・子供も生き延びるために必死だった

●感動的なラストシーン

- ・母との対面とスティーブとの別れ
- ・ハリウッド映画らしいハッピーエンド